

Hirosima maturity

ヒロシマ マチュリティ

VOL.171

2025.11.25
(令和7年)

(公社)日本産業退職者協会広島支部

〒730-0036 広島市中区袋町6番36号 広島市まちづくり市民交流プラザ内 BOX1
日退協ホームページアドレス <https://jariphiroshima.sakura.ne.jp/>

ヒロシマ マチュリティに寄せて



(公社)日本産業退職者協会
広島支部 副支部長
平石 純一

広島支部の機関紙『ヒロシマ マチュリティ』は、年に2回発刊されています。平成27年（2015年）までは年6回奇数月に発刊され、途中（平成28年～）年3～4回の時期もありましたが、令和6年（2024年）からは年2回なりました。寄稿していただく会員や編集担当者の原稿集めに要する労力を考えて発刊回数を減らすことになりました。

本紙への投稿を機に、過去の『ヒロシマ マチュリティ』を再読しました。

投稿された方の博識と文章力に改めて感心をしました。また、コロナ期には参加者の減少やそのため活動の停滞等を懸念する声が上がっており、この問題は現在にも当てはまるものです。

話は飛びますが、最近の新入会員の構成を見ていますと隔世の感があります。

一つの例ですが、毎年新たに入会された会員を対象にした『新入会員の集い』という行事があり、2023年秋の行事案内の対象者は、まだ男性会員のほうが相当多く、2024年秋は、男性女性ほぼ同数でした。今年の秋になりますと、圧倒的に女性会員が多くなっています。

女性の地位向上や自立という言葉をよく耳にします。この現状は一過性のものではなく、社会現象として日退協広島支部にも起こっているのです。男性中心の発想からの変化が、今求められているように思います。

今や会員構成の1/3は女性が占めています。『ヒロシマ マチュリティ』は、情報発信を通じて会員交流の交差点の役割を担っています。投稿をするのは男性会員が多い現状から、もっと女性会員に寄稿してもらえるようにする、さらに、

会員に『ヒロシマ マチュリティ』に親しんでいただくような施策を展開することが急務と考えています。

広島支部総会に参加して

濱田 寛

5月21日に、日退協広島支部総会が広島サンプラザホテルで実施されました。広島支部は令和7年3月末で414人の正会員数ですが、総会出席者は64人、委任状210人で合計274人の参加で総会成立となりました。

尾形支部長を始めとする関係支部役員から、第1号～第7号議案まで、全ての議案が説明され、審議され、参加者の盛大な拍手で承認されました。



スムーズな総会となったのは、議長団の進行と、運営委員、事務局員の献身的な事前準備があった為と思われます。

総会終了後、懇親会が行われましたが、今年は、会員間の親睦を深める為の時間を増やそうということで、毎年行ってきた謡や詩吟を行わず実施しました。どのテーブルも活発に談笑されており、成功であったと思います。

しかし、参加者が年々少なくなっています。その理由は、開催場所の交通が不便という事も聞きます。

市内に大人数を受け入れられる場所が少なくなっている事、費用が高くなっている事、女性会員の割合が高くなっている為の開催時間の問題、等があります。コロナの影響もまだ残っています。

今後は総会の参加者を増やす方法を色々な方面から考える必要があります。広島支部が皆様にとって生きがいとなる、魅力ある組織となっていくことを祈っています。

（広島支部 元運営委員）

「達人たちの夢・2025」参加レポート

岡本 典男

明るく活力ある長寿社会の形成に寄与する広島市高齢者作品展「達人たちの夢2025」に参加し、来場の市民、支部会員に日退協広島支部の元気な活動状況を発表した。

◆日時・場所◆

9月12日(金)・13日(土)

ひと・まちプラザ 北棟5F 研修室ブース

◆作品展示◆

園芸・盆栽同好会、写画一る会、写真を楽しむ会、女性バラエティ同好会、陶芸同好会、がんす川柳会、竹とんぼクラブの7同好会メンバー総計88人が想いを込めて仕上げた作品を持寄り、展示。総点数324点の作品を披露。今回、初めての試みとして陶芸作品の即売会を実施し、収益金の一部を財政対策委員会に収めた。



◆来場者数◆

163人（昨年239人）

◆総括◆

展示内容のレベルは確実に上がっていた。入会コーナーも設け、支部活動紹介パンフレットも準備し、一般来場者に支部活動をPRした。又、受付&会場案内にも延べ人数15人が快く引き受けてくださり、

夫々の役割を積極的に果し、強い連帯感を再認識した。今回の行事を通じて、支部会員の皆様に支えられ、お互いに「元気」のエール交換が出来た。多数の会員のご協力、ご厚情に深く感謝し、これから支部の発展と会員のご健勝を祈るばかりである。

改めて【人生の達人】を目指し精進を重ねる事を誓った行事であった。（達人たちの夢実行委員会 副支部長）



尾形 雅美

留学生との交流会は、今年の秋で72回目を迎えます。歴史を見ますと平成5年3月中国からの留学生2人を招いて第1回留学生との交流会を開催したとあります。途中新型コロナ対策で令和元年12月の66回を最後に、令和4年3月迄休止をしました。でも、留学生を招いてというスタイルは今も変わりません。エリザベト音楽大学の留学生の方の演奏・歌唱と広島支部は日本的な詩吟や謡いなど行い、その後留学生と共に飲食を伴い歓談をして、大層にぎやかに開催していました。留学生や広島支部の出席者と出演者選びは大変苦労されたと思います。ミニ交流会として、会員と留学生が共に食事を作り、食事会を行いました。卓球クラブの応援をもらい卓球会も行っていました。

現在は飲食をやめ、お土産付に変更し交流会を年2回開催しさらに、卓球クラブの応援を求め、卓球を楽しもう会を年間4回予定しています。



これには留学生会館の皆様に募集を掛けますが、日本語教室の生徒にも参加を呼びかけています。

これも国際交流ととらえて良いと考えます。

これからは様々な方法を考えながら、留学生にかかわらず交流していければ良いのではないかと思っています。

（広島支部 支部長）

四季の会

坂井 修一

四季の会は、梅、桜、楓などを見ながら季節を楽しんでいる同好会です。

生い立ちは平成4年9月10日幹事会で、梅見の会を実施したいと提案があり、賛同を得て観梅会とすることになりました。当時は同好会も少なく、会員の皆様が一度に会することがな

進んで生きがいを求め、友と苦楽と共にし、天寿の日々を悔いなく生きたい

かったため、春の野外でお酒を飲みながら食事を共にして歓談すれば会員の皆様の交流が図れると考えました。

観梅会とすることになりましたが、平成6年4月に「四季の会」に名称変更して、春は観桜会、秋は観楓会と名付け活動しています。

観桜会、観楓会を楽しみにしている会員さんがたくさんおられ、貸し切りバスはいつも満員状態でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大で令和2年、3年と中止しました。

四季の会の特徴は家族会員さんが3割位で、令和4年の観桜会より再開し、最近は屋内の食事も喜ばれています。



催しに参加されて満足度が高いのは、好天に恵まれベストなタイミング時ですが、最近は気象の変化で時季の設定には苦慮しています。

世話人一同会員の皆様が楽しく喜ばれる風情を見つけるよう努めてまいります。

(四季の会 代表世話人)

第28回 旅を楽しむ会

杉谷 佐知夫

今回の旅を楽しむ会は「新幹線で行く長崎・佐賀の3日間の主要観光地」を巡る旅をしました。

9月初旬から4人の健康不安によるキャンセルがあり、参加者19人プラス添乗員の20人で参加者皆様のご支援ご協力と、天候にも恵まれてよい思い出作りが出来たと思います。福岡から3日間、西鉄観光バスの20代だと思われる女性ドライバーにお世話になり、山道、市街地、高速と快適な旅が出来ました。

1日目は唐津城、平戸ザビエル教会を見学し、夕方早く旗松亭に到着。入浴後、参加者減で飲み物代が不足するため全員にカンパをお願いしてお酒の追加もあり、参加者全員で楽しい宴会となりました。宴会終了後は有志が幹事部屋で持参したお酒で又盛り上がりました。

2日目は大浦天主堂、グラバー園、軍艦島等を見学、軍

艦島は世界一過密な5千数百人が居住していたのを体験。3日目は雲仙ロープウェイで普賢岳展望台へ登頂、島原城を見学、昼食後博多駅から新幹線で広島駅へ17時45分に無事到着しました。



支部の方々と旅に出て楽しく語るのはよいものだと思いました。

来年はいずこに!

(旅を楽しむ会 代表世話人)

シニアな男性も料理を楽しもう

外 前田 恵

広島支部の男性料理教室は足掛け通算24年となろうとしています。但し、途中で世話人の高齢化で2年間中止することもありました。しかし皆さんの尽力で再度料理教室が復活しました。

現在は広島駅前のビッグフロント5階で月1回の例会を開催しています。



教室のモットーは誰もがチャレンジ出来る家庭料理、また、講師の季節を感じさせるレシピ。

皆さんのが料理をしてみたいと思う動機はそれぞれ違います。面白そうだ、パートナーに先立たれたら、病気になったらとか、また美味しい料理が食べたい?とか、調理中の皆さんはもくもくと真剣そのものです。時折、話し声が聞こえるのは隣人と調理の仕方や料理談義です。

調理時間は2時間余、あつと言う間もないくらいです。更に出来上がった料理を器に盛りつけます。見た目に食欲をそ

行事・同好会参加人数 R7.3~R7.8

()は家族会員再掲

総会	64人	(0人)
世話人交流会	45人	(0人)
会員交流会	0人	(0人)
幹事会	74人	(0人)
新入会員の集い	27人	(0人)
新年懇親会	0人	(0人)
運営委員会	82人	(0人)
二木会	555人	(10人)
留学生との交流会	43人	(0人)
会員留学生・他	21人	(0人)
達人たちの夢展	0人	(0人)
エリザベートコンサート	91人	(0人)
ボランティア	69人	(7人)
ゴルフ同好会	67人	(3人)
テニス同好会	114人	(6人)
四風会 月例・大会	14人	(1人)
社会見学会	123人	(10人)
木 楽 会	27人	(3人)
朱 樹 会	68人	(8人)
歴史探訪会	72人	(13人)
四季の会	36人	(2人)
園芸・盆栽同好会	29人	(0人)
囲碁同好会	182人	(0人)
写真を楽しむ会	71人	(0人)
PCDC共催写真撮影会	6人	(0人)
旅を楽しむ会	0人	(0人)
がんす川柳会	71人	(4人)
山を歩く会	32人	(3人)
写画一覧会	66人	(0人)
男性料理教室	86人	(0人)
PCDCを楽しむ会	134人	(0人)
PCDCを楽しむ会。写真を楽しむ会共催	17人	(1人)
陶芸同好会	165人	(0人)
詩吟を楽しむ会	60人	(0人)
卓球クラブ	232人	(33人)
女性バラエティ同好会	4人	(4人)
G・ゴルフを楽しむ会	26人	(7人)
エスキーテニス同好会	195人	(8人)
演歌ミニ道場	119人	(0人)
カラオケ愛好会	364人	(4人)
だれでもできるばんづくり2	86人	(2人)
竹とんぼクラブ	77人	(5人)
劇場映画を楽しむ会	62人	(6人)
らくらく山歩会	28人	(1人)

切手収集 累計件数／3091件

ベルマーク(カートリッジ含む) 累計件数／792件

使用済みハガキ 累計枚数／258枚

運営委員会

3月6日、4月3日、5月1日、

6月5日、7月3日、8月7日

世話人交流会

3月27日

幹事会

3月27日、4月10日、7月17日

新入会員の集い

3月6日

総会

5月21日

編集後記

退職後に登山仲間に紹介されて日退協に入会したのが昨年10月でした。「山を楽しむ会」から始め、「写真を楽しむ会」「歴史探訪会」などの同好会活動、「桜の木を育てる会」「エリザベト音大共催コンサート」などのボランティア活動に参加し、在職時とは全く違う新たな人々との交流が生まれ、自分磨きの場が拡大しました。経験豊富な先輩方から学ぶことが多く、活動を通して社会貢献となることも実感でき、喜びとなりました。

今年7月から運営委員会に参加し、今回マチユリティの編集委員を担当する機会を得ました。主として文章校正に携わりましたが、編集委員の皆様のお力添えにより無事完成に至り、感謝しております。寄稿文や写真から活気溢れる支部活動の様子が伝わる会報となったと思います。 (T・S)

そる美的感覚、これも一つのテクニックです。調理が終われば試食です。今日の調理はどうだったか自分で食べるわけですから、自己責任です。また緊張の一瞬ですね。

皆さんも料理にチャレンジしてみませんか。

(男性料理教室 代表世話人)

竹とんぼクラブの活動について

清水 英男

竹とんぼクラブは、2023年6月から活動を開始しました。メンバーは当初は11人、現在は16人。女性も3人いらっしゃいます。

永山顧問の設計図を基に、初めて竹とんぼ作りに挑戦しました。竹の伐採、油抜き、乾燥等ゼロからのスタートでした。その後、本部より加工済みの竹材の提供を受け、作業が進みました。

ある程度材料作成が進み、何とか子供向けの竹とんぼ教室をと情報収集をしていたところ、2024年7月に牛田新町小学校で最初の教室を開催する事が出来ました。



当日は19組38人の親子の参加者があり、羽のバランス取り、曲げ、軸の取り付け、絵付けをメンバーの指導により完成させ、全員で飛ばしました。最初はうまく飛ばせない子が居ましたが、練習していると飛ぶようになると親子で非常に喜んでいる姿をみて、こちらも嬉しくなりました。

その後、8月には牛田公民館のサマースクールでも同様な教室を開催いたしました。

2025年も同じ様に提案し、7月牛田新町小学校で開催し、7組17人の親子が参加、8月牛田公民館で開催し、10組25人の親子の参加が有りました。

作業としては同じですが、竹とんぼがうまく飛んだ時の嬉しそうな親子の様子を見ていまつたら、苦労して竹材の加工などしたことも忘れ、実行して良かったと実感いたしました。

今後も教室は開催したいと思いますので、要望、情報が有りましたよろしくお願ひいたします。

(竹とんぼクラブ 代表世話人)